



GII

REPORT

第11回 レディース チャレンジカップ

11/19~24 ボートレース下関

優勝戦1周2マーク



ガッツポーズ



三浦永理が「前評判通り」にV奪取 賞金2位に浮上しTR1号艇を獲得

SGチャレンジカップと同時開催のGII戦は、大みそか決戦のクインズクライマックス出場を懸けたラストチャレンジマッチだ。浜田亜理沙や渡邊優美ら、獲得賞金上位のF休みもあり、優勝でもベスト12入りが見えない選手もいたが、最後の勝負駆けらしい、白熱したバトルが展開された。

GII使用モーターは2連対率の低いものが使用されるが、優劣の差が激しく、それが成績に直結。そして下馬評の高い46号機を手にした三浦が戦線をリードした。

初日ドリームをインからあっさり逃げて白星発進を決めると、外

枠も難なく克服してオール3連対。予選ラストの5日目を白星で締めくくり優勝戦ポールポジションを獲得。「出足を中心にいい。伸びも下がらないし操縦性もいい。スタートもスローなら大丈夫」。この時点で、勝負アリだった。

優勝戦は全艇がゼロ台というスリット合戦になったが、三浦もインからコンマ09で応戦。伸び返して先マイに持ち込み、そのままVゴールを駆け抜けた。

賞金ランキング3位で大会に臨んだ三浦は、優勝賞金490万円を加算し、2位へ浮上。「1号越

前検日(11月18日)時点の賞金ランキング

順位	選手名	獲得賞金額
1	遠藤 エミ	47,360,000
2	浜田亜理沙	36,382,166
3	三浦 永理	34,949,000
4	渡邊 優美	34,819,866
5	守屋 美穂	31,912,000
6	細川 裕子	28,774,999
7	平山 智加	27,179,866
8	平高 奈菜	27,180,500
9	宇野 弥生	26,604,932
10	藤原 菜希	26,591,162
11	西橋 奈未	26,022,000
12	海野ゆかり	24,852,000
13	寺田 千恵	24,175,428
14	長嶋 万記	22,964,000
15	田口 節子	23,321,190

優勝戦(11月24日)終了時点の賞金ランキング

順位	選手名	獲得賞金額
1	遠藤 エミ	57,394,000
2	三浦 永理	45,969,000
3	浜田亜理沙	41,936,166
4	渡邊 優美	39,381,866
5	守屋 美穂	36,128,000
6	細川 裕子	34,489,999
7	平高 奈菜	34,391,500
8	平山 智加	33,630,866
9	西橋 奈未	32,884,000
10	宇野 弥生	32,273,932
11	藤原 菜希	31,079,162
12	川野 芽唯	30,831,982
13	海野ゆかり	29,892,000
14	田口 節子	29,684,190
15	寺田 千恵	29,337,428



優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター		今回成績					
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
一般	本誌			出	行	伸	コース・スタートタイミング				
◎	◎	① 三浦 永理		◎	◎	○	① -09	②③ 四15六26	② 五15	③ 三09	① 二11
○	×	② 田口 節子		◎	◎	○	① 二11	② 四16	② 六11	③ 三11	④① 五07-16
△	○	③ 西橋 奈未	F	◎	◎	○	② 五16	① 二13	#N/A 三06-06	④ 六29	① 四07
×	△	④ 平高 奈菜		○	○	○	③① 五09-17	③ 四22	② 六11	② 二09	③ 三24
		⑤ 平山 智加		◎	○	○	⑤ 三08	⑥① 五16-14	① 四11	② 二07	④ 六05
		⑥ 川野 芽唯		◎	◎	○	⑤ 四19	① 三14	③ 二11	①③ -08五32	④ 六19

展示速報での採点

12R

- 1 三浦永理 ☆☆☆☆
- 2 田口節子 ☆☆☆★
- 3 西橋奈未 ☆☆☆★
- 4 平高奈菜 ☆☆☆★
- 5 平山智加 ☆☆☆★
- 6 川野芽唯 ☆☆☆

*当日の携帯・スマホマークルで配信したものです

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	三浦 永理	1.47.0	1	09
2	⑥		川野 芽唯	1.49.3	6	03
3	④	△	平高 奈菜	1.49.3	4	05
4	③	○	西橋 奈未	1.50.8	3	04
5	②	×	田口 節子	1.50.9	2	08
6	⑤		平山 智加	1.52.2	5	03
2連単 ①-⑥			4750円	13番人気	逃げ	
3連単 ①-⑥-④			21480円	50番人気		

は緊張しますが、TRは2号艇より1号艇がいいのでうれしい。年末の生懸命走ります。年末の一番・クイーンズクライマックスの舞台・蒲郡は通算4度の優勝があるドル箱水面。第1回大会(大村)以来となる、2度目の女王戴冠へ準備は整った。

そしてベスト12入りを懸けた争いも最後の最後までもつれた。最終日時点で、残り2枠を田口節子、川野芽唯、海野ゆかりの3人で争った。優出した田口と川野は2着以上、海野は優勝戦の結果待ちという状況で、勝ち取ったのは川野。大外発進だったが、道中は最後まであきらめない走り最終2マークで大逆転の2着。見事勝負駆けに成功。田口は5着に敗れ、最後の1枠は海野が手にした。

また、第1回大会から12年連続出場中だった寺田千恵は、予選で敗退。賞金ランキング15位に終わり、連続出場はストップした。

戦い終わって—

川野芽唯(2着)

リング交換や整備をして、今まで足りなかった舟足がきた。押し感がついて、スタートも届いてくれた。

平高奈菜(3着)

足の仕上がりは悪くなかったし、スタートも悪くなかった。(逆転を許した)最後は自分のミス。

西橋奈未(4着)

いい仕上がりで行けたし、精いっぱいのまくり差しはできたと思います。クイーンズクライマックスでリベンジできるように頑張ります。クラシックに行きたいので年末が本番。

田口節子(5着)

スタートは全速で行ったけど、さすがにそれ以上(コンマ08)は行けなかったですね。足的にも最終日は調整が難しかったです。

平山智加(6着)

仕上がりは良かったです。乗り心地も問題なかった。いい調整はできたと思うけど、1マークでいい所を差せなかった。

優勝・三浦永理

スタートは早いと思ったので放ってしまいました。(3号艇・西橋奈未のまくり差しは)あの角度なら大丈夫だと思った。エンジンは平高選手との試運転でも良かったし、レースはいい感じで行けました。蒲郡は準地元だし、次も頑張りたい。